

JSPS科学研究費20H01356(基盤研究B)「弥生時代高地性集落の列島の再検証」(研究代表者:森岡秀人)

弥生時代高地性集落研究 公開シンポジウム

# 「高地性集落」論 のいま

—半世紀ぶりの研究プロジェクトの成果と課題—

瀬戸内海と紫雲出山遺跡 撮影:柴田昌児

## 弥生高地人はいったい何のために高所を必要としたのか?

この4年間、私たち科研チーム約50名は、弥生時代の大きなナゾの一つである高地性集落出現過程の解明に取り組んできました。このたびは、その成果の一端をまとめ、討議し、残された多くの課題も整理し、さらなる調査、研究の飛躍とします。「倭国大乱」との関係や解釈も研究が進んだいま、どのように修正が加えられるのか。弥生時代から古墳時代にかけての激動の時代に各地でいったい何が起こったのか、歴史の真相に迫ります。

日時 令和6年3月2日(土)9:30~17:20(9:00開場)

会場 同志社大学今出川キャンパス

良心館1階、RY107教室

(聴講無料、事前申込不要、定員300名)

(公財)古代学協会HP <https://kodaigaku.org>

弥生時代高地性集落の列島の再検証HP

<https://yayoikouchisei.jimdofree.com>

問い合わせ (公財)古代学協会 麻森敦子

075-252-3000(yayoikaken@gmail.com)

終了後懇親会を開催します。

時間:18:00~20:00

場所:京都市上京区烏丸上立売西入同志社大学寒梅館1F「アマーク・ド・パラディ」

会費:社会人6000円・学生3000円を予定

URLの申し込みフォームは<https://forms.gle/JKwnkFusbQKcsXDF6>

あるいは右記QRコードから記入して送信してください。2月26(日)までに申込み送信お願い申し上げます。



9:00 会場、9:30開会(総合司会:宇佐美智之)

1部 高地性集落論への問い方 9:30 ~12:10

総論—高地性集落論の過去・現在・未来  
高地性集落データベースの整備と展望  
研究史からみた脱高地性集落論—比較考古学への展望—  
高地性集落出現期は大航海時代か—弥生中期中葉の他地域系土器  
海上アクティビティ—と高地性集落—双方向視認に関する検証—  
高地性集落論と弥生～古墳時代の変化  
銅鐸埋納と高地性集落祭祀  
高地性集落、西から東へ

森岡秀人((公財)古代学協会)  
宇佐美智之(京都芸術大学)  
寺前直人(駒沢大学)  
荒木幸治(赤穂市教育委員会)  
柴田昌児(愛媛大学)  
若林邦彦(同志社大学)  
國下多美樹(龍谷大学)  
桑原久男(天理大学)

2部 地域論の再考 13:00~14:40

山口県島田川流域の高地性集落  
「古曾部・芝谷類型」を考える  
—高地性集落・高所立地集落を考古資料として考えるために—  
和泉の高地性集落  
近江の高地性集落  
列島北部日本海側における高地性集落の特質—長岡市赤坂遺跡の調査から—

田畑直彦(山口大学)  
伊藤淳史(京都大学)  
上田裕人(和泉市教育委員会)  
戸塚洋輔(彦根市)  
森 貴教(新潟大学)

3部 遺物論からみた高地性集落の諸問題 14:50~16:10

近畿弥生社会における青銅器の流入と受容をめぐる  
近畿中部の鉄斧からみる高地性集落と木工  
武力衝突と高地性集落  
動物資源の獲得と利用からみた「高地性集落」の理解—動物骨を中心として—

菊池 望(東京国立博物館)  
鈴木崇司(駒沢大学)  
荒田敬介(神戸市文化スポーツ局文化財課)  
石丸恵利子(広島大学総合博物館)

4部 総合討論 16:20~17:20 コーディネーター 森岡秀人・桑原久男

◆誌上発表

佐原真高地性集落論の批判的検証—紫雲出山遺跡と周辺低地遺跡の比較検討から—  
高地性集落と祭祀場・信仰地の動静—瀬戸内海島嶼部の祭儀空間をめぐる真偽—  
ジオ・アーケオロジーからみた高地性集落論  
高地性集落の終焉をめぐる一例—奈良盆地—  
備讃瀬戸における高地性集落—土器論の補遺—  
出雲の高地性集落について  
山陰地方・大山山麓の高所に立地する弥生時代の遺跡について  
淡路島における高地性集落と山間地集落  
鼓ヶ滝遺跡—溪流を見下ろす高地性遺跡—  
淀川水系の丘陵立地集落  
加賀における高地性環濠集落の新例—金沢市観法寺墳墓群の調査から—  
北陸の高地性集落と鉄製武器の保有形態—集落動態からみた位置づけとその防衛的性格—

日韓の高地性集落 比較小考  
韓国の青銅器時代高地性集落 (要旨)  
鉄製刀剣類からみた高地性集落  
高地性集落における北部九州系土器と「板石硯」の出土とその意義  
高地性集落と分業の問題—集落の立地と木材資源の流れ—

惣ヶ池遺跡出土銅青銅鏡の科学的調査  
和泉・惣ヶ池遺跡出土小形仿製鏡の分析結果とその特異性

園原悠斗(兵庫県教育委員会)  
川部浩司(斎宮歴史博物館)  
松田順一郎  
山本 亮(東京国立博物館)  
信里芳紀(香川県埋蔵文化財センター)  
西村 葵(八雲立つ博物館)  
濱田竜彦(鳥取県)  
伊藤宏幸(淡路市教育委員会)  
朝井琢也(川西市教育委員会)  
福家 恭((公財)長岡京市埋蔵文化財センター)  
安中哲徳((公財)石川県埋蔵文化財センター)  
林 大智((公財)石川県埋蔵文化財センター)  
向井一雄(古代山城研究会)  
兪炳球(中原大学校)  
ライアン・ジョセフ(岡山大学)  
久住猛雄(福岡市埋蔵文化財センター)  
樋上 昇((公財)愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター)  
渡邊緩子(日鉄テクノロジー(株))  
森岡秀人・上田裕人

発表順・発表者・内容は変更することがあります。